



保福審第23号
平成24年1月20日

福岡市長 高島 宗一郎 様

福岡市保健福祉審議会
委員長 石田 重 森



「福岡市高齢者保健福祉計画」（平成24年度～平成26年度）
の策定について（答申）

平成23年6月2日付保推第251号により諮問のあった標記の件について、本審議会は高齢者保健福祉専門分科会で慎重に審議を重ねた結果、別紙のとおり意見を付すとともに、別添のとおり答申します。

福岡市においては、この答申を踏まえ、「高齢者一人ひとりが、生きがいを持ち尊厳を保ちながら住み慣れた地域で自立した生活を安心して続けることができる地域社会の形成」を着実に推進されるよう切に希望します。

【別紙】 附帯意見

- 福岡市においては、国の方針を踏まえ、特別養護老人ホームのユニット型個室の整備が進められている。居室の個室化は、プライバシーの確保の点での利点はあるものの、入所者の状況によっては、人の気配を感じられることが良い場合など、入所者処遇上の課題や、低所得者の居住費の負担能力の問題もあることから、多床室の必要性について国へ要望されたい。

- 介護療養型医療施設については、国において平成29年度末で廃止が予定されているが、高齢者の要介護度の重度化が進み、医療ニーズの高い施設入所者の増加が予測されることから、必要な措置について国へ要望されたい。